

第7回先進的研究開発戦略センター戦略推進会合 議事概要

○開催日時 令和6年2月19日（月）14時00分～16時00分

○場 所 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）201会議室

○出席者

先進的研究開発戦略センター長 濱口 道成

先進的研究開発戦略センター プロボスト 古賀 淳一

先進的研究開発戦略センター フェロー 脇田 隆子（国立感染症研究所 所長）

内閣府健康・医療戦略推進事務局長 中石 斉孝

内閣府健康・医療戦略推進事務局次長 高谷 浩樹

内閣府健康・医療戦略推進事務局 ディレクター 中島 宣雅

文部科学省 審議官（研究振興局及び高等教育政策連携担当） 奥野 真

厚生労働省 危機管理・医務技術総括審議官 森光 敬子

経済産業省 商務・サービスグループ生物化学産業課長 下田 裕和

東京大学国際高等研究所新世代感染症センター 特任教授 河岡 義裕

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター 先進的研究開発事業部長 野田 浩絵

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター 先進的研究開発事業部 研究総括役 田中 大平

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター 先進的研究開発事業部 感染症有事検討グループ長 飛梅 実

■議 事

1. 構成員等からの情報共有
2. ワクチン・新規モダリティ研究開発事業の課題選考について
3. その他

■概 要：

○構成員等から、それぞれの取組や現状などについて説明があった。

○SCARDAから、ワクチン・新規モダリティ研究開発事業の採択課題について報告を行うとともに、「SCARDAにおけるワクチン研究開発の戦略」の改訂案について説明があった。

○意見交換においては、感染症有事においてワクチン開発を迅速に進めるための課題として、ワクチン研究開発の過程で必要な倫理審査を迅速化するための事前調整の必要性、実験用サルの国内供給体制の確認の必要性、部素材の製造・供給不足に備えた平時の対応の必要性等について指摘があった。また、これらを含む課題抽出や対応策検討のため、有事を想定した具体的なシミュレーションや戦略が必要であるとの指摘があった。

以上